



意匠出願

意願2025-0001704号

ライセンサー 総合せき損センター



スライディングボード

Neo

Made In Japan

総合せき損センターが開発した移乗補助具、スライディングボード「Neo」。
先行モデルのスライディングボード「つばさ」の「差し込みやすさ」を継承しつつ、
幅広設計と低摩擦素材によって使いやすさを追求した介助用モデルです。

スライディングボード「Neo」の特長

✓ 丸みを帯びたスコップ形状×低摩擦素材でスムーズな移乗

丸みを帯びたスコップ形状と低摩擦素材により、わずかな力でもスムーズに差し込み・引き抜きが可能。移乗時の摩擦抵抗を抑えることで、利用者・介助者双方の身体的負担を大幅軽減します。

✓ 幅広設計×臀部保護カバーで快適さと安全性を両立

ボード中央は広めの安心設計です。臀部が直接触れる部分には保護カバーを装備。しっかり支える安心感と、肌へのやさしさを両立しました。

✓ 顔が近づきすぎない安心設計

無理に抱え上げる動作を減らし、介助者と利用者の顔が過度に近づくことを防ぎます。より安全で自然な姿勢での移乗をサポートし、双方に安心感をもたらします。